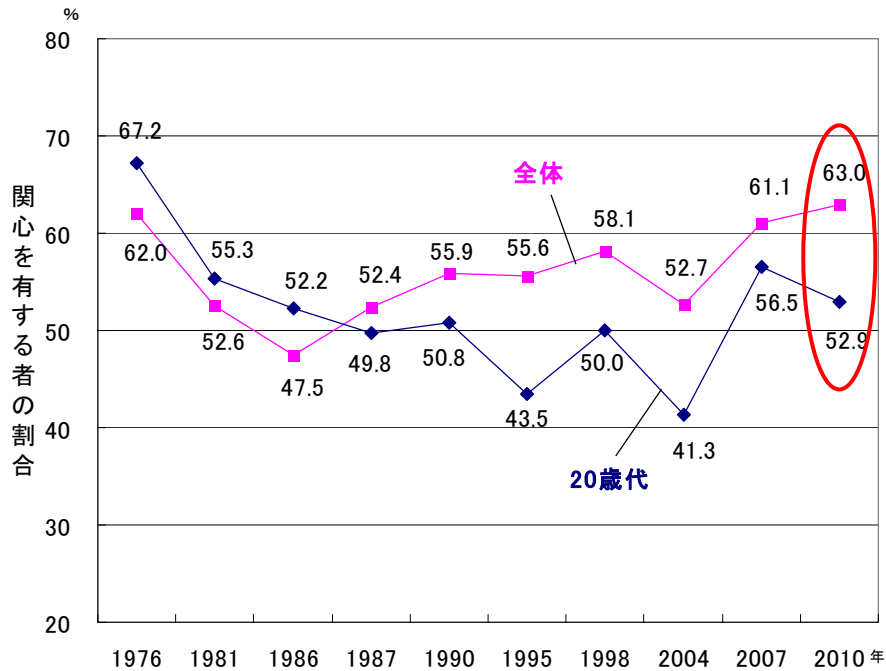


「科学技術と社会に関する世論調査」(平成 22 年 1 月調査)の結果
(主なポイント)

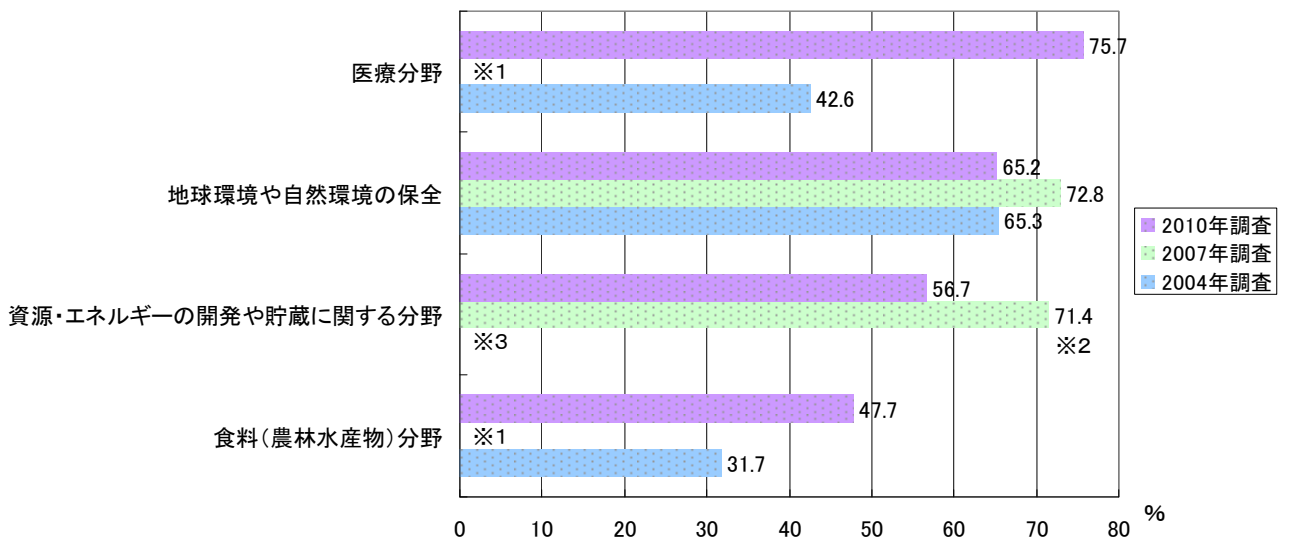
Q. あなたは、科学技術についてのニュースや話題に関心がありますか。



※ 今回の調査では、選択肢に「どちらともいえない」は含まれていない。

図 1：科学技術に対する国民の関心の推移

Q. あなたは、科学技術が今後どのような分野に貢献すべきだと思いますか。



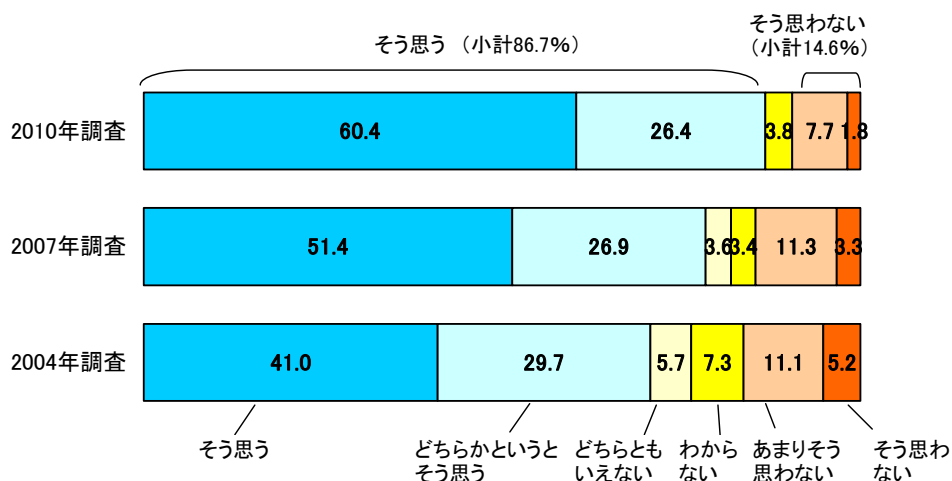
※ 1 2007年調査では、「食料(農林水産物)の生産や健康の維持・増進」が47.8%となっている。

※ 2 2007年調査では、「資源・エネルギーの開発、有効利用やリサイクル」となっている。

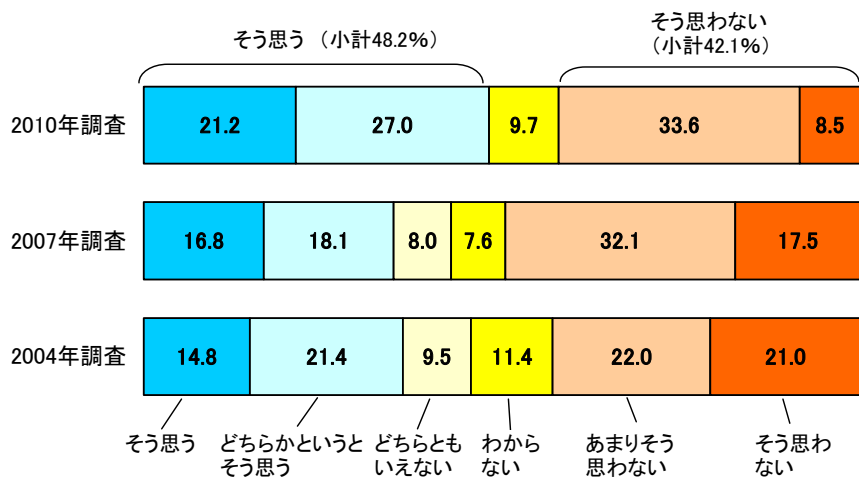
※ 3 2004年調査では、「資源の開発やリサイクル」が60.7%、「エネルギーの開発や有効利用」が58.7%となっている。

図 2：科学技術が貢献すべき分野

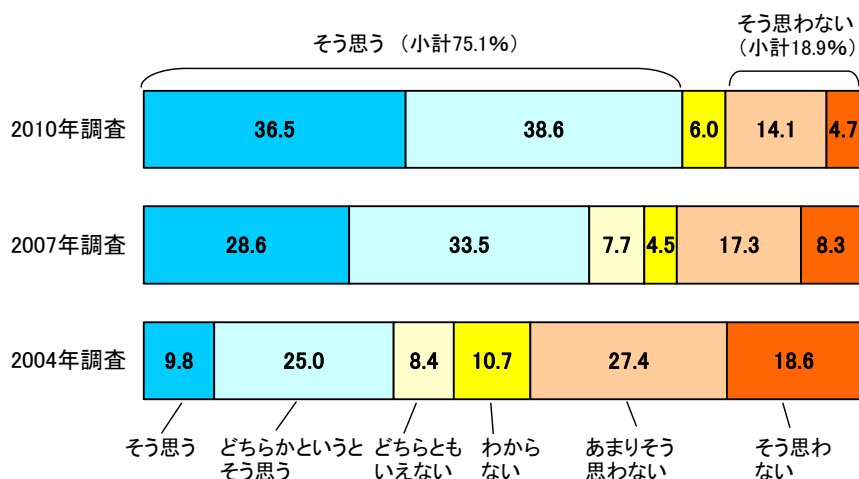
Q. 国際的な競争力を高めるためには、科学技術を発展させる必要があるか。※1



Q. 学校で理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っているか。※1



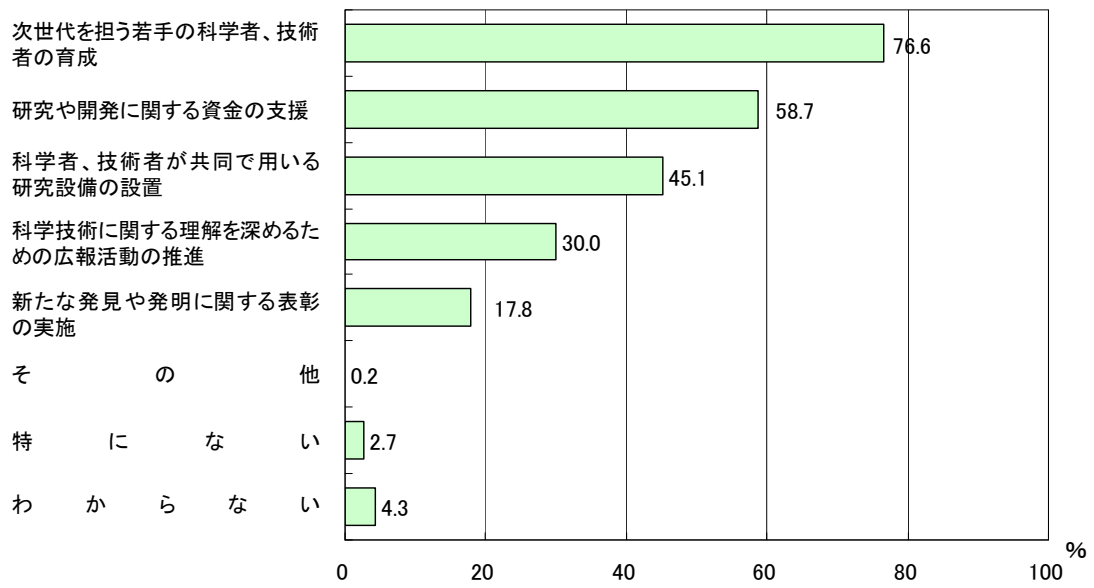
Q. 社会の新たな問題は科学技術によって解決されるか。※1、※2



※1 2010年調査では、選択肢に「どちらともいえない」は含まれていない。
 ※2 2004年調査の問は、「環境問題などの社会の新たな問題は科学技術によって解決される」としている。
 2006年、2010年調査の問は、「資源・エネルギー問題、環境問題、水、食料問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、科学技術によって解決される」としている。

図3：科学技術に対するイメージ

Q. 科学技術の発展に、国の政策として必要なはどのようなことだと思いますか。



「科学技術と社会に関する世論調査」(平成22年1月調査)
結果概要

○調査項目

- (1) 科学技術への関心について
- (2) 科学技術が社会に与える影響及び科学者等に対するイメージについて
- (3) 科学技術が貢献すべき分野及び発展に必要な政策について

○調査対象

- (1) 母集団：全国20歳以上の者
- (2) 標本数：3,000人

○調査時期：平成22年1月14日～24日

○回収結果

有効回収数(率)：1,916人(63.9%)

○性別・年齢別回収結果

| 年齢 | | 標本数 | 回収数 | 回収率 | 年齢 | | 標本数 | 回収数 | 回収率 |
|----|--------|-------|-----|------|----|--------|-------|-------|------|
| % | | | | | % | | | | |
| 男性 | 20-29歳 | 184 | 82 | 44.6 | 女性 | 20-29歳 | 191 | 90 | 47.1 |
| | 30-39歳 | 235 | 125 | 53.2 | | 30-39歳 | 258 | 152 | 58.9 |
| | 40-49歳 | 264 | 158 | 59.8 | | 40-49歳 | 254 | 186 | 73.2 |
| | 50-59歳 | 246 | 148 | 60.2 | | 50-59歳 | 241 | 183 | 75.9 |
| | 60-69歳 | 288 | 200 | 69.4 | | 60-69歳 | 293 | 215 | 73.4 |
| | 70歳以上 | 235 | 173 | 73.6 | | 70歳以上 | 311 | 204 | 65.6 |
| 計 | | 1,452 | 886 | 61.0 | | | 1,548 | 1,030 | 66.5 |

結果掲載先

内閣府大臣官房政府広報室

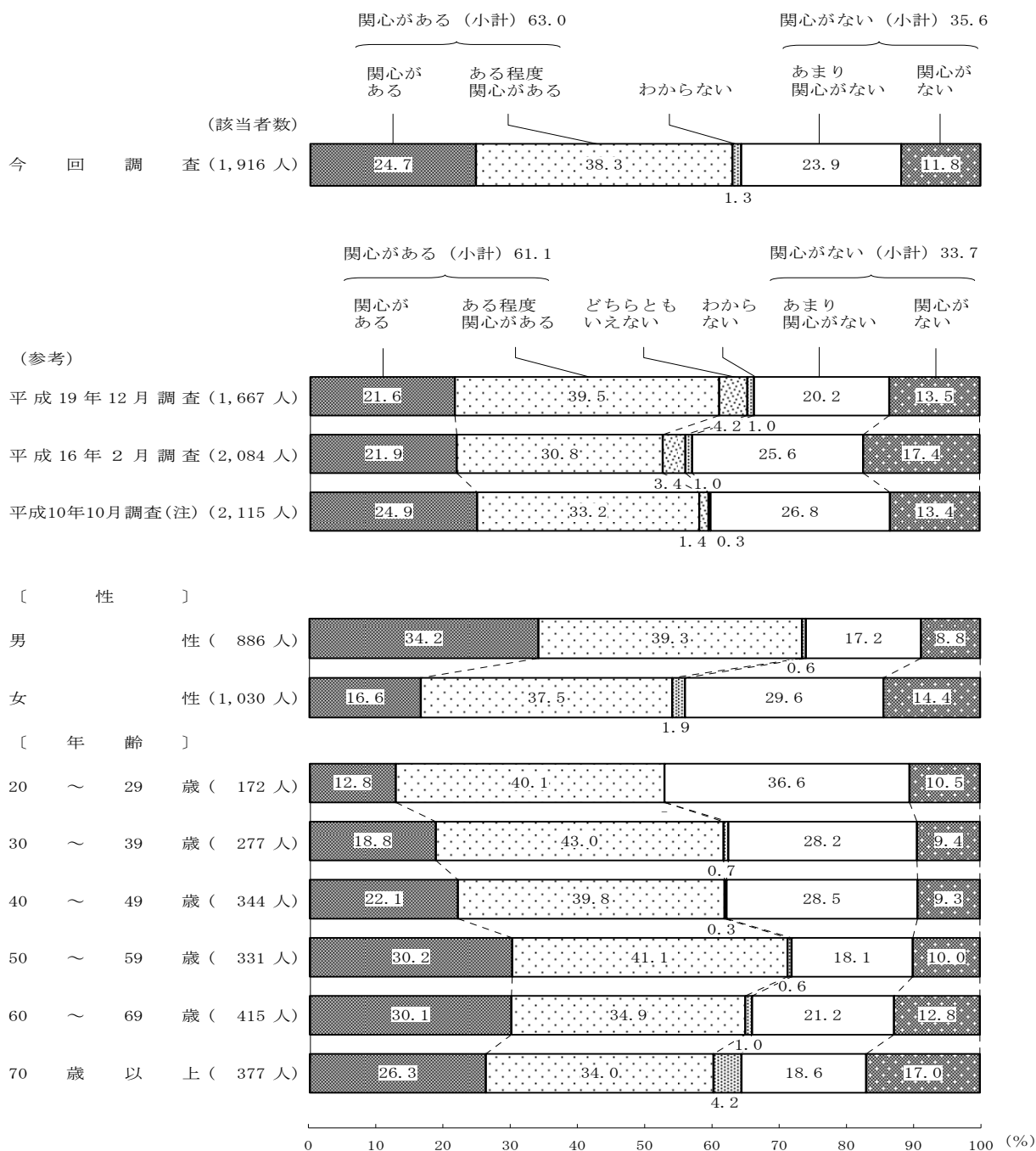
<http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-kagaku/index.html>

1 科学技術への関心

(1) 科学技術についてのニュースや話題への関心

平成 22 年 1 月

- ・ 関心がある (小計) 63.0%
- ・ 関心がある 24.7%
- ・ ある程度関心がある 38.3%
- ・ 関心がない (小計) 35.6%
- ・ あまり関心がない 23.9%
- ・ 関心がない 11.8%



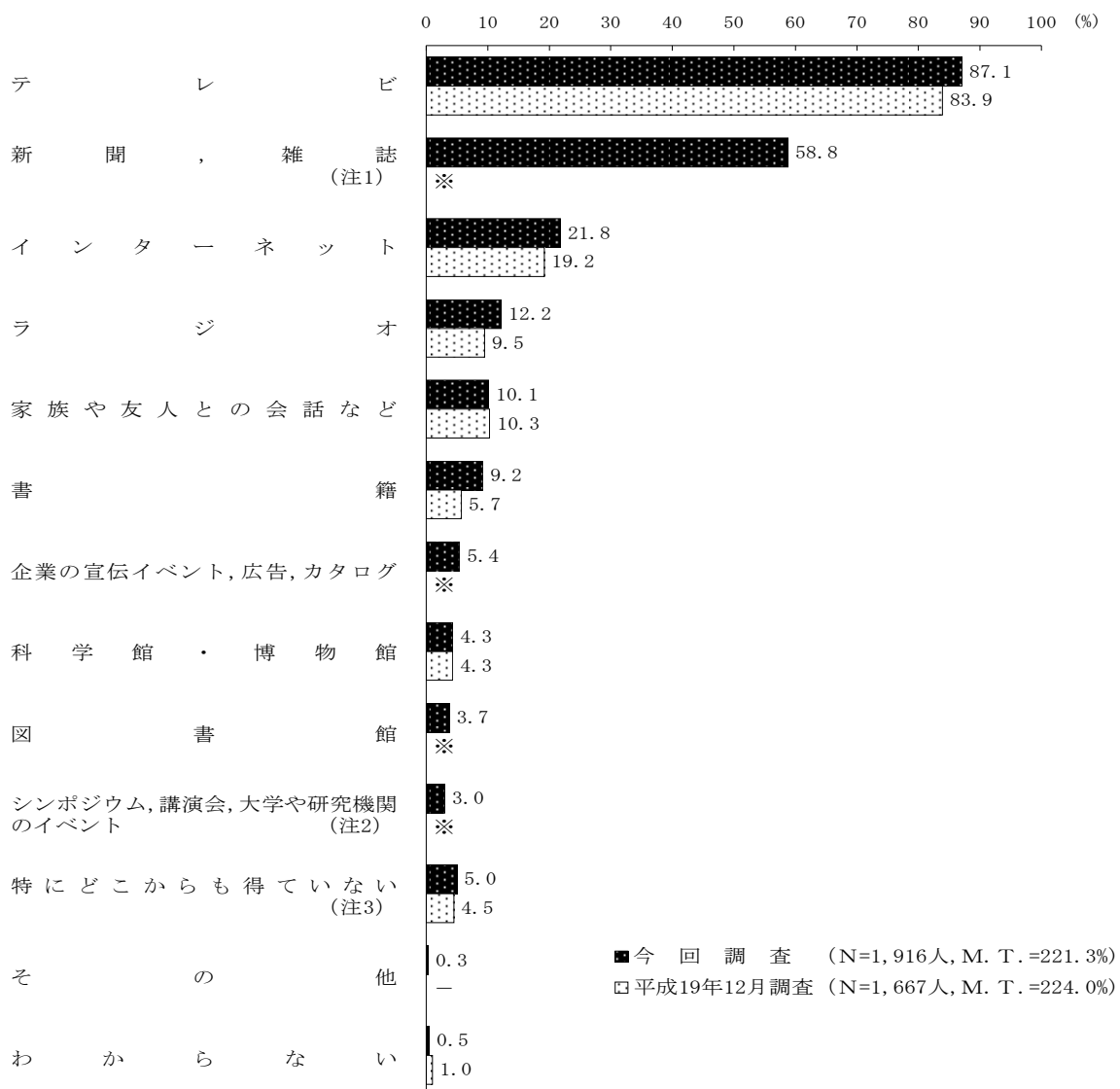
(注) 平成10年10月調査では、「どちらともいえない」は回答票に列記していない。

(2) 科学技術に関する情報の認知経路

(複数回答、上位6項目)

| | 平成19年12月 | 平成22年1月 |
|-------------|----------|-----------|
| テレビ | 83.9% | 87.1% (増) |
| 新聞, 雑誌 | ※ | 58.8% |
| インターネット | 19.2% | 21.8% |
| ラジオ | 9.5% | 12.2% (増) |
| 家族や友人との会話など | 10.3% | 10.1% |
| 書籍 | 5.7% | 9.2% (増) |

(複数回答)



(注) 平成19年12月調査では、「あなたは、ふだん科学技術に関する知識をどこから得ていますか。」と聞いている。また、「仕事を通じて」(8.0%)という選択肢がある。

(注1) 平成19年12月調査では、「新聞」が58.3%、「一般の雑誌(週刊誌, 月刊誌等)」が11.0%、「専門誌」が4.4%となっている。

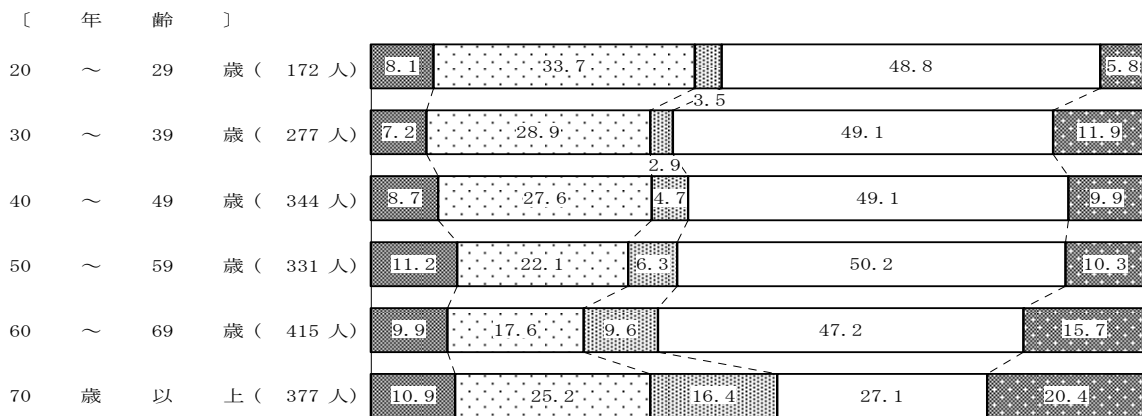
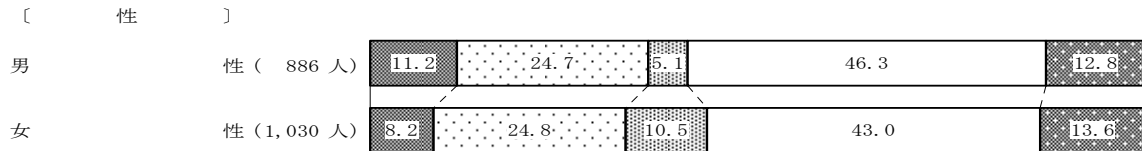
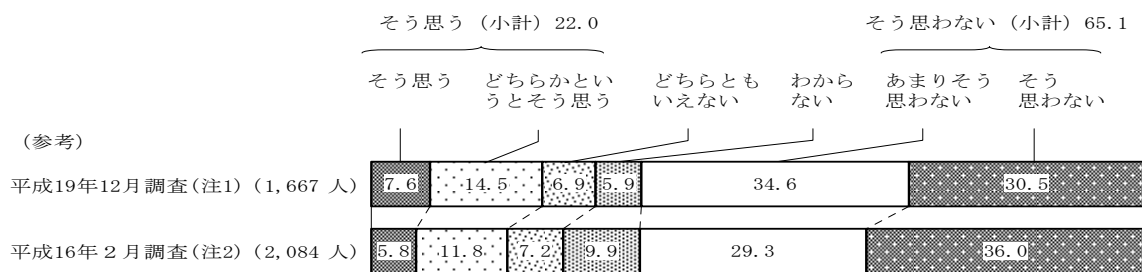
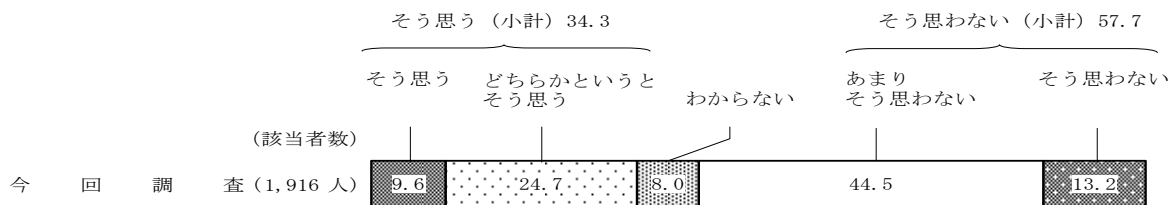
(注2) 平成19年12月調査では、「シンポジウム, 講演会」が2.3%、「大学や研究機関の公開・見学イベント」が1.6%となっている。

(注3) 平成19年12月調査では、「どこからも得ていない」となっている。

(3) 科学技術への関心と理解を深める機会や場は十分にある

平成 22 年 1 月

- ・ そう思う (小計) 34.3%
 - ・ そう思う 9.6%
 - ・ どちらかというと思う 24.7%
- ・ そう思わない (小計) 57.7%
 - ・ あまりそう思わない 44.5%
 - ・ そう思わない 13.2%



0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)

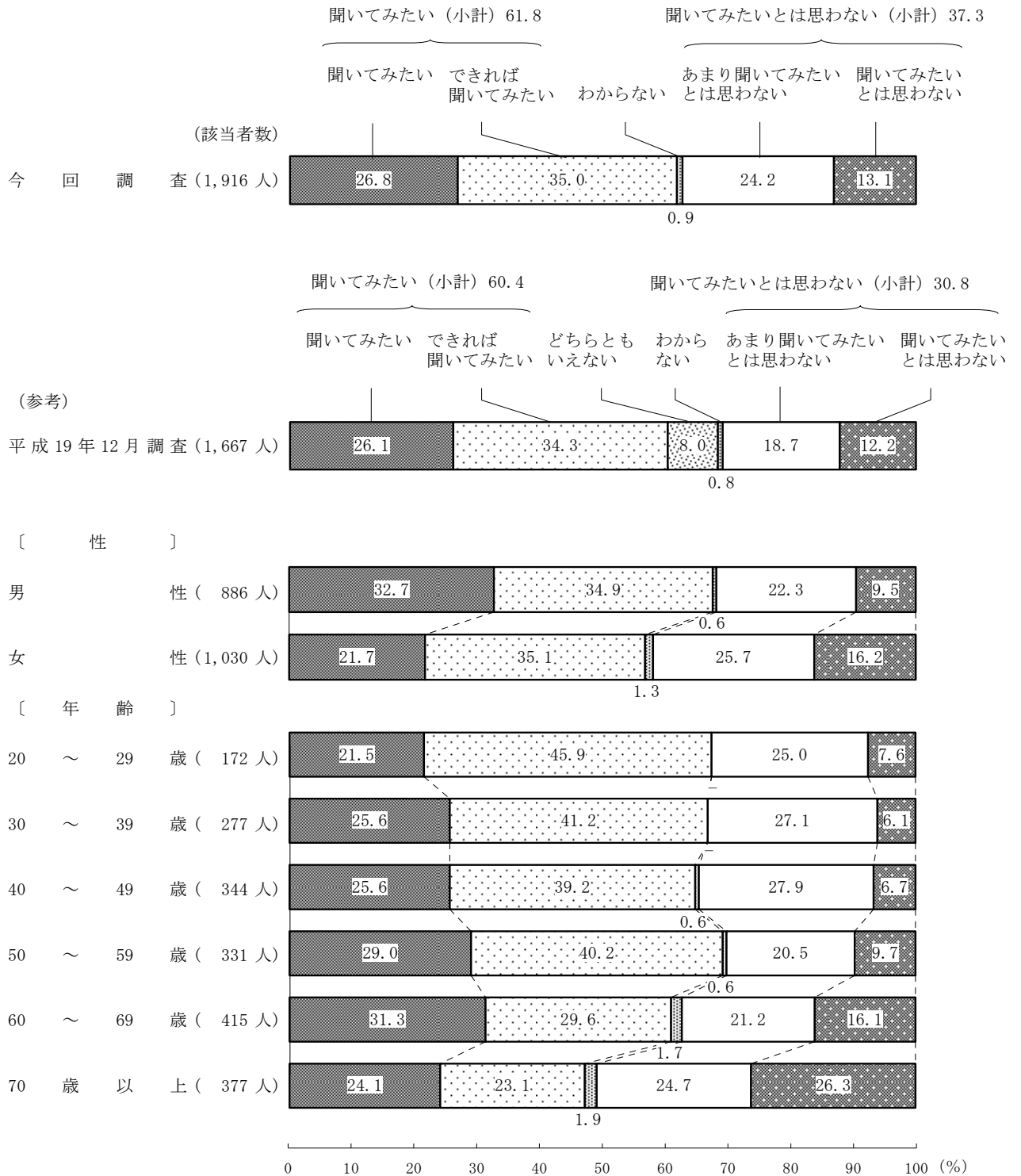
(注1) 平成19年12月調査では、「科学技術への関心と理解を深めるためには、科学館や博物館などの体験の場や研究所の一般公開、講演会などを通じて科学者や技術者が科学技術をわかりやすく説明したり、テレビやインターネット、新聞や雑誌などで一般向けの番組や記事を提供したりすることが重要です。このような科学技術に関する情報発信についての次の意見について、あなたはどのように思いますか。」と聞いた上で、「科学技術について知りたいことを知る機会や情報を提供してくれるところは十分にある」と聞いている。

(注2) 平成16年2月調査では、「科学技術への関心と理解を高めるためには、科学者や技術者が科学館・博物館などの体験の場や研究所の一般公開、講演会などを通じて科学技術をわかりやすく説明し、情報を発信することが重要ですが、このような科学者や技術者からの情報発信に関して、あなたはどのように思いますか。」と聞いた上で、「科学技術について知りたいことを知る機会や情報を提供してくれるところは十分にある」と聞いている。

(4) 科学者や技術者の話への関心

平成 22 年 1 月

- ・ 聞いてみたい (小計) 61.8%
 - ・ 聞いてみたい 26.8%
 - ・ できれば聞いてみたい 35.0%
- ・ 聞いてみたいとは思わない (小計) 37.3%
 - ・ あまり聞いてみたいとは思わない 24.2%
 - ・ 聞いてみたいとは思わない 13.1%



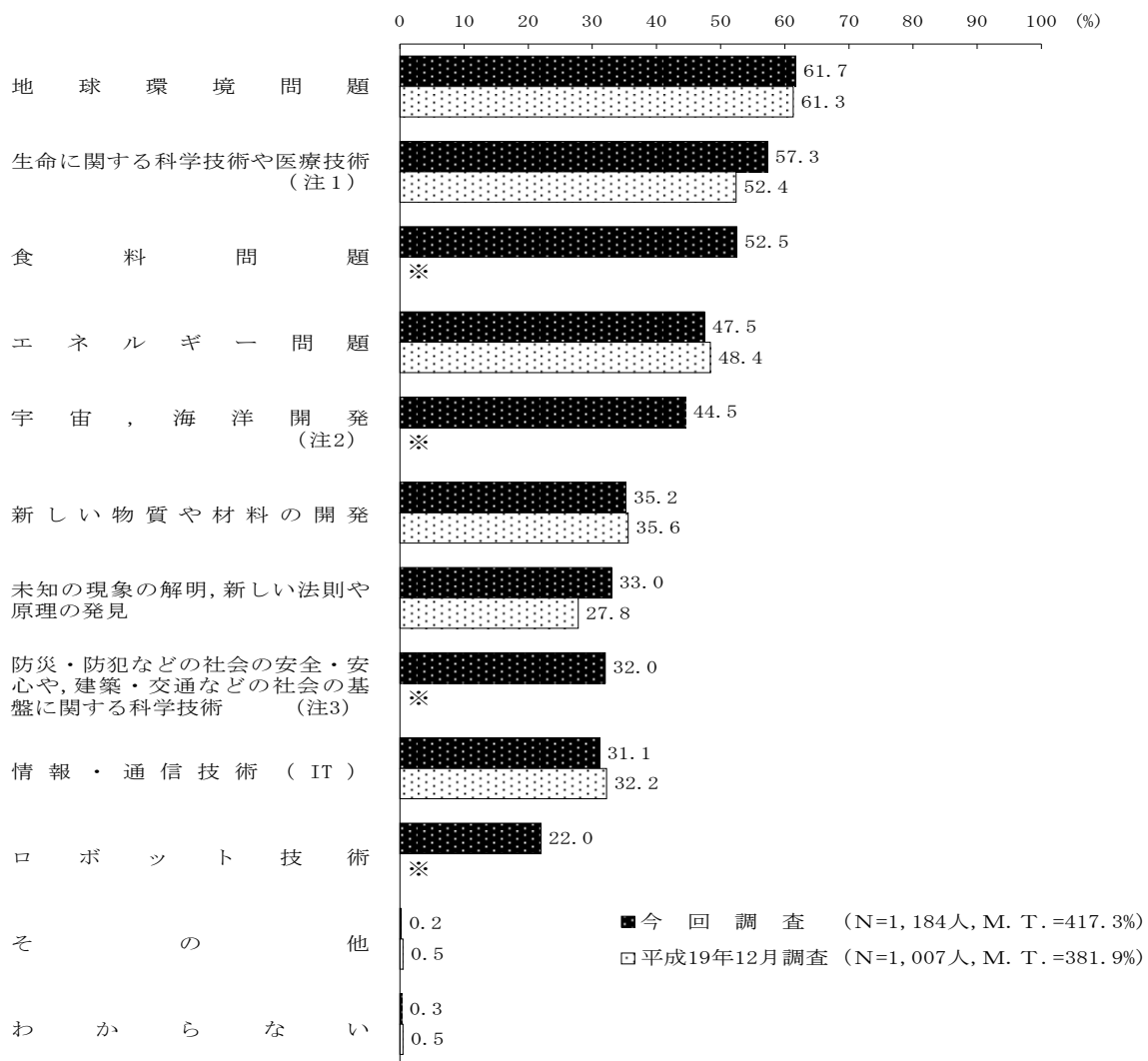
(科学者や技術者の話を「聞いてみたい」、「できれば聞いてみたい」と答えた者(1,184人)に)
 ア 話を聞いてみたい分野

(複数回答、上位5項目)

平成19年12月 平成22年1月

| | | | |
|-------------------|-------|---|-----------|
| ・ 地球環境問題 | 61.3% | → | 61.7% |
| ・ 生命に関する科学技術や医療技術 | 52.4% | → | 57.3% (増) |
| ・ 食料問題 | ※ | | 52.5% |
| ・ エネルギー問題 | 48.4% | → | 47.5% |
| ・ 宇宙, 海洋開発 | ※ | | 44.5% |

(科学者や技術者の話を「聞いてみたい」、「できれば聞いてみたい」と回答した者に、複数回答)



(注) 平成19年12月調査では、「あなたは、具体的には、科学技術のどのような話を聞いてみたいと思いますか。」と聞いている。また、「科学者自身の経験やエピソード」(15.7%)という選択肢がある。

(注1) 平成19年12月調査では、「生命に関する科学技術や医療技術(ライフサイエンス, バイオテクノロジーなど)」となっている。

(注2) 平成19年12月調査では、「宇宙開発」が33.4%, 「海洋開発」が20.8%となっている。

(注3) 平成19年12月調査では、「安全や安心に関する科学技術(災害対策, 犯罪防止, 情報セキュリティ, 汚染物質管理, 感染症対策など)」が33.0%, 「土木・建築, 交通・輸送技術」が20.6%となっている。

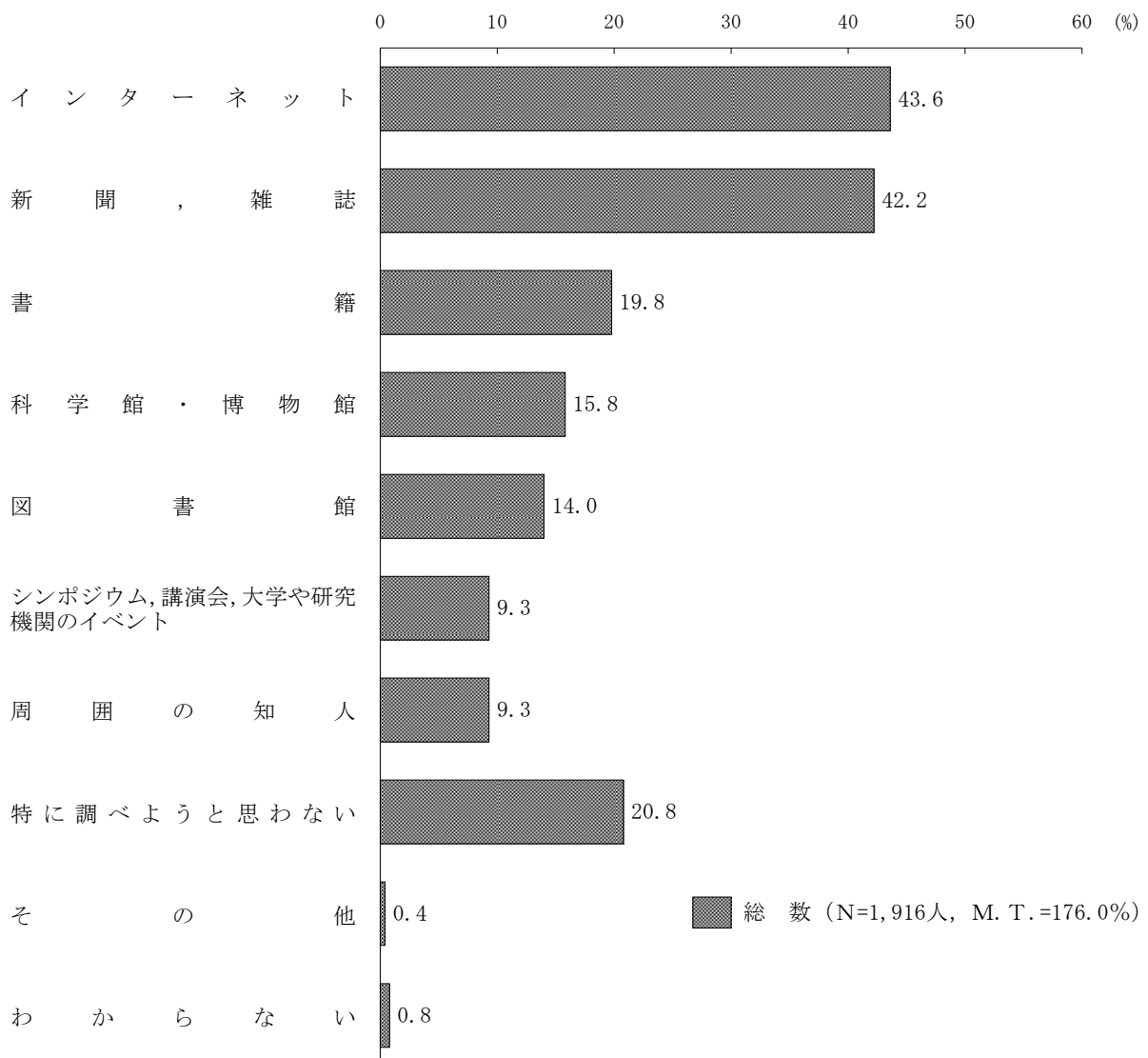
(5) 科学技術に関する情報の調査手段

(複数回答、上位5項目)

平成22年1月

| | |
|---------------|-------|
| ・ インターネット | 43.6% |
| ・ 新聞, 雑誌 | 42.2% |
| ・ 書籍 | 19.8% |
| ・ 科学館・博物館 | 15.8% |
| ・ 図書館 | 14.0% |
| ・ 特に調べようと思わない | 20.8% |

(複数回答)

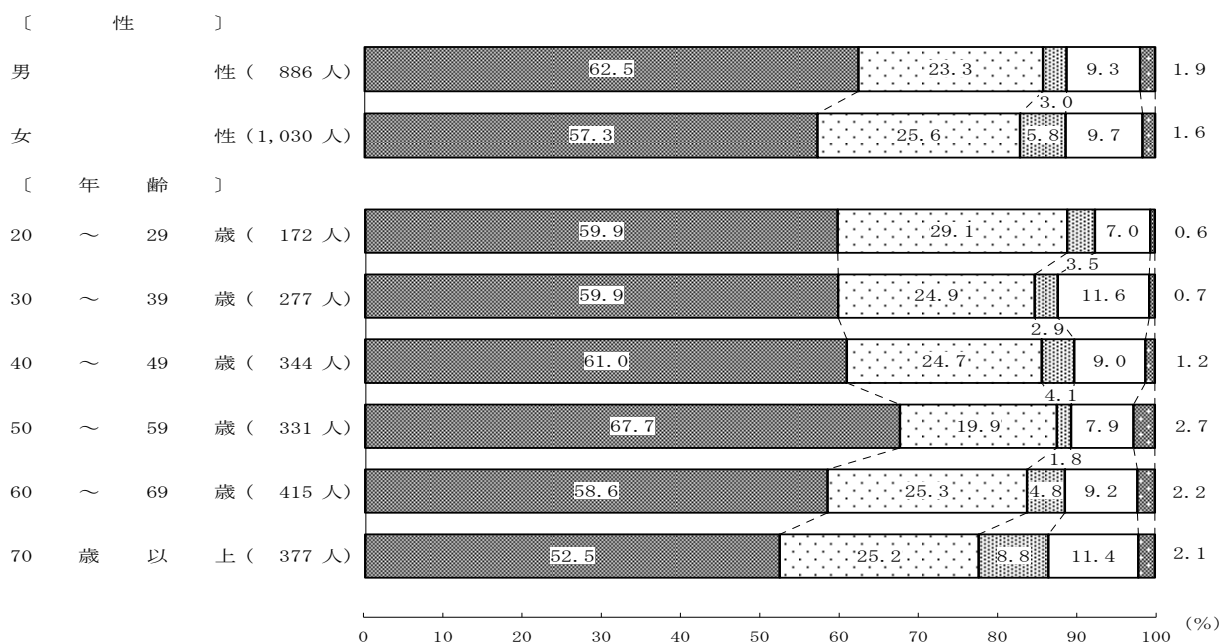
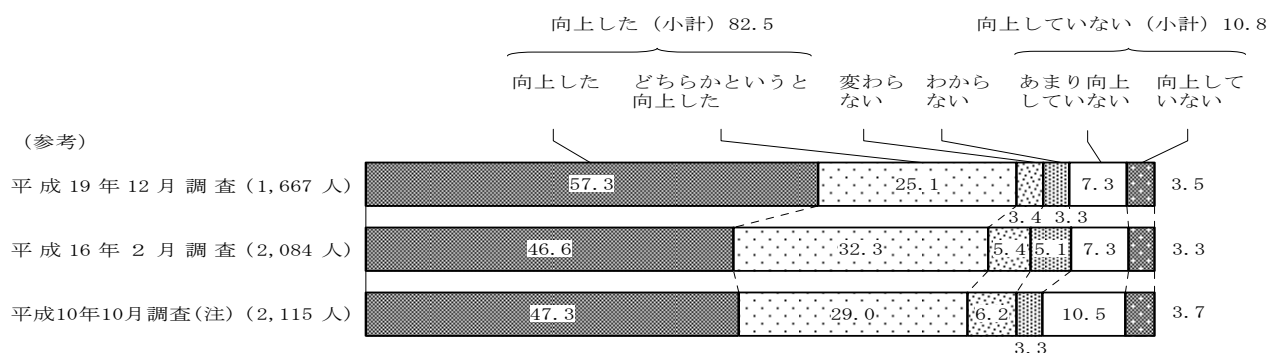
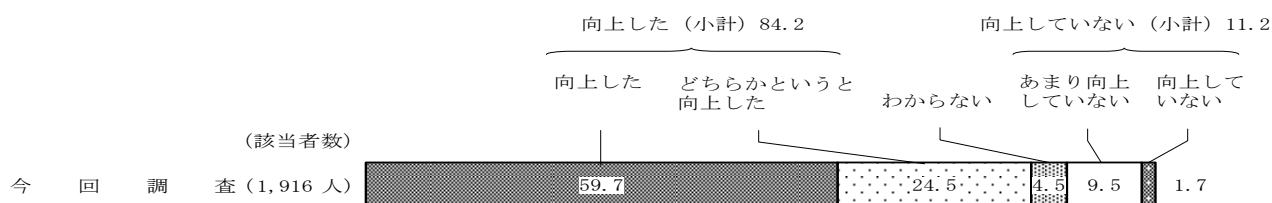


2 科学技術が社会に与える影響及び科学者等に対するイメージ

(1) 科学技術の発展により向上したもの

ア 物の豊かさ

| | 平成 22 年 1 月 |
|----------------|-------------|
| ・ 向上した (小計) | 84.2% |
| ・ 向上した | 59.7% |
| ・ どちらかというと向上した | 24.5% |
| ・ 向上していない (小計) | 11.2% |
| ・ あまり向上していない | 9.5% |
| ・ 向上していない | 1.7% |

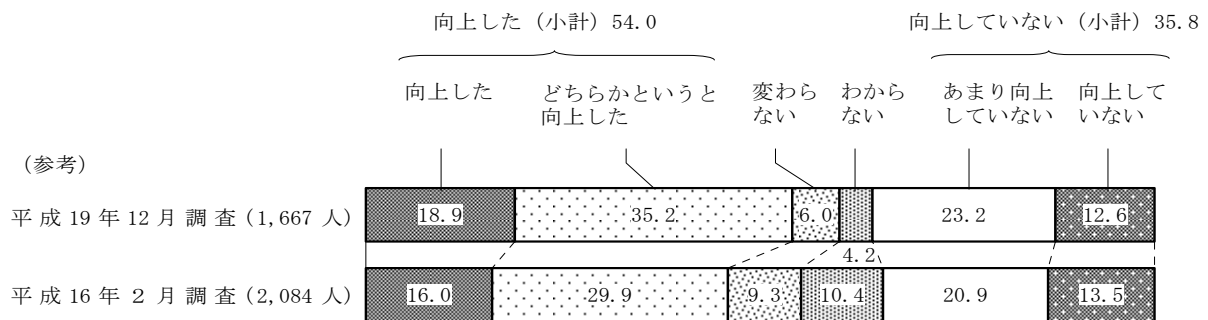
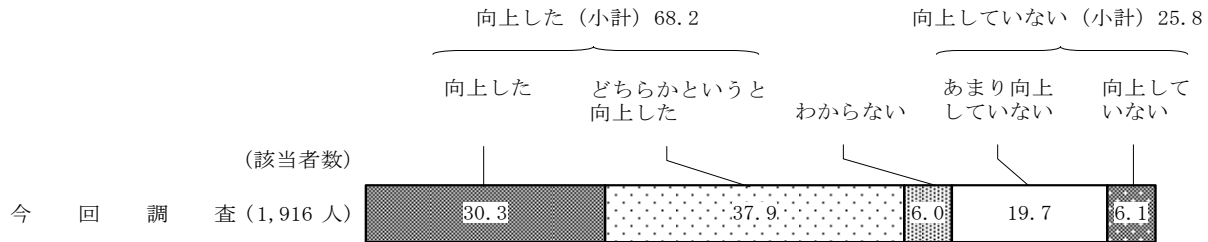


(注) 平成10年10月調査では、「科学技術の発達により次のものは向上したと思いますか。」と聞いた上で、「物の豊かさ」について聞いている。

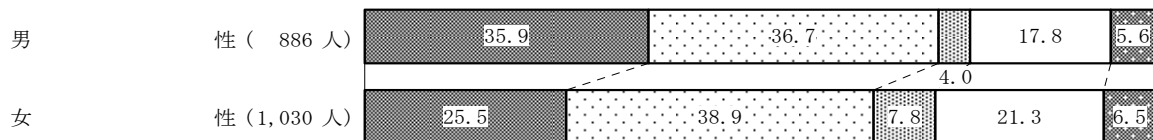
イ 社会や生活の安全性

平成 22 年 1 月

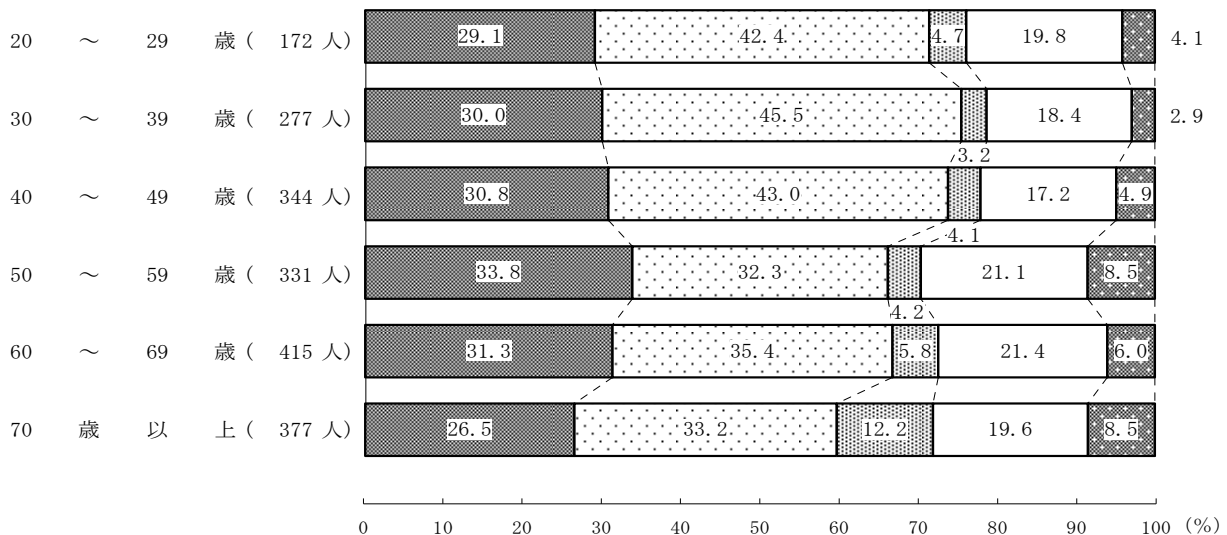
- ・ 向上した (小計) 68.2%
 - ・ 向上した 30.3%
 - ・ どちらかというと向上した 37.9%
- ・ 向上していない (小計) 25.8%
 - ・ あまり向上していない 19.7%
 - ・ 向上していない 6.1%



[性]



[年 齢]

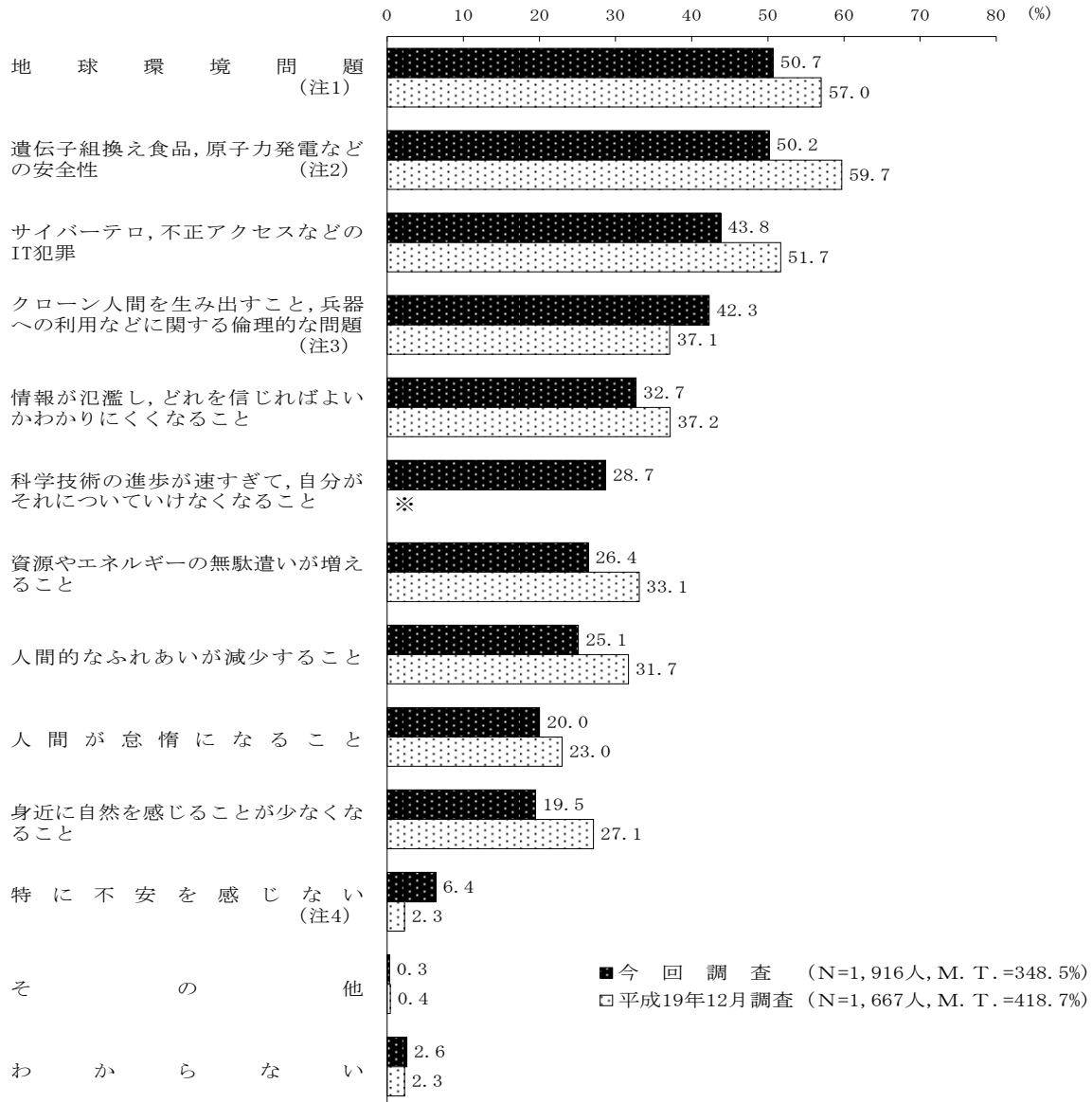


(2) 科学技術の発展を不安に思う分野

(複数回答、上位4項目)

| | 平成19年12月 | 平成22年1月 |
|------------------------------------|----------|-------------|
| ・地球環境問題 | 57.0% | → 50.7% (減) |
| ・遺伝子組換え食品, 原子力発電などの安全性 | 59.7% | → 50.2% (減) |
| ・サイバーテロ, 不正アクセスなどのIT犯罪 | 51.7% | → 43.8% (減) |
| ・クローン人間を生み出すこと, 兵器への利用などに関する倫理的な問題 | 37.1% | → 42.3% (増) |

(複数回答)



(注) 平成19年12月調査では、「個人のプライバシーに関する情報が悪用されること」(46.1%), 「仕事が奪われること」(10.0%)という選択肢がある。

(注1) 平成19年12月調査では、「酸性雨, 温暖化などの地球規模の環境問題」となっている。

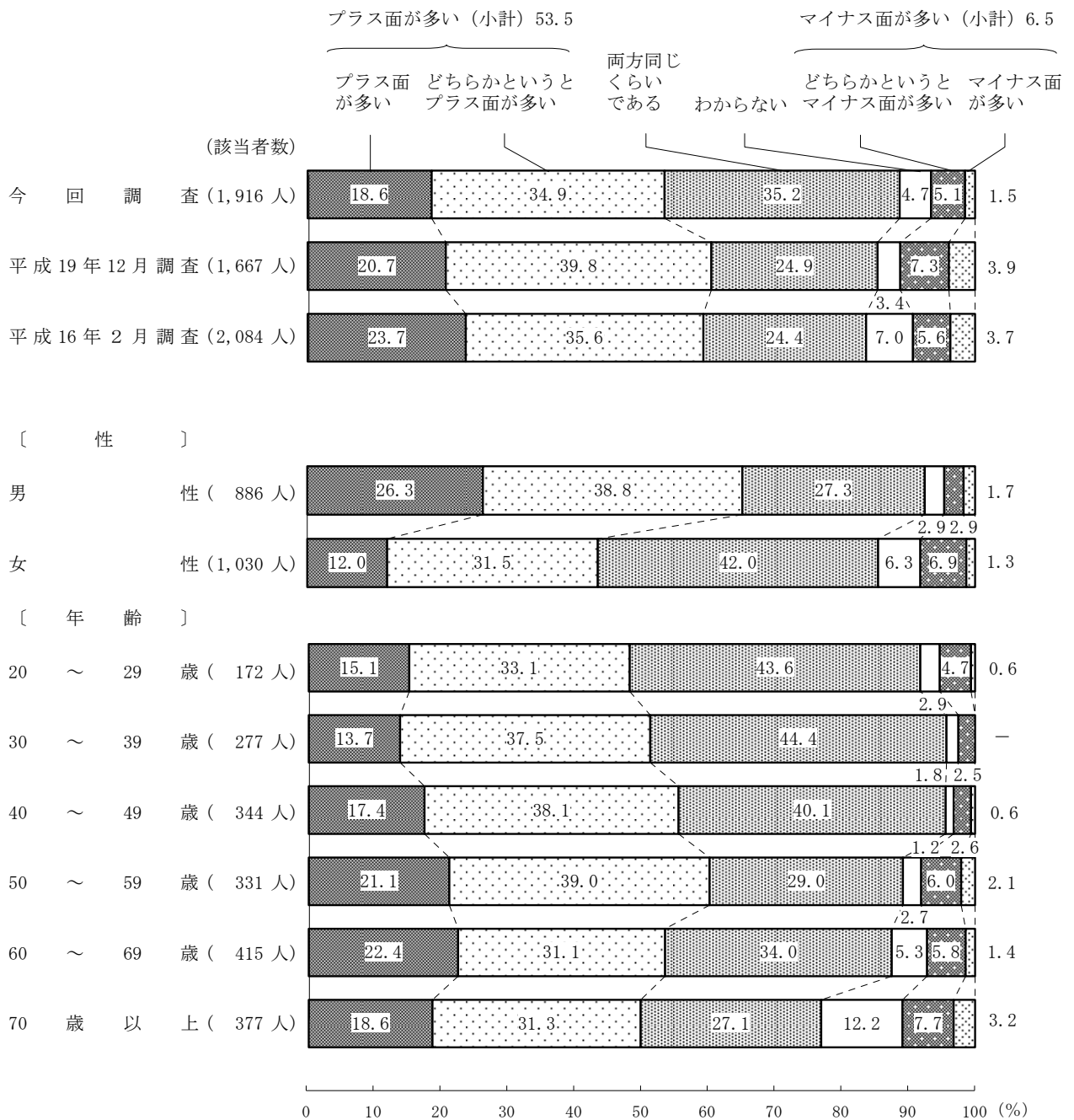
(注2) 平成19年12月調査では、「遺伝子組換え食品などの安全性」となっている。

(注3) 平成19年12月調査では、「クローン人間を生み出すことなどの倫理的な問題」となっている。

(注4) 平成19年12月調査では、「特にない」となっている。

(3) 科学技術の発展のプラス面とマイナス面

| | 平成 19 年 12 月 | → | 平成 22 年 1 月 |
|---------------------|--------------|---|-------------|
| ・ プラス面が多い (小計) | 60.5% | | 53.5% (減) |
| ・ プラス面が多い | 20.7% | | 18.6% |
| ・ どちらかというとプラス面が多い | 39.8% | | 34.9% (減) |
| ・ 両方同じくらいである | 24.9% | | 35.2% (増) |
| ・ マイナス面が多い (小計) | 11.2% | | 6.5% (減) |
| ・ どちらかというともマイナス面が多い | 7.3% | | 5.1% (減) |
| ・ マイナス面が多い | 3.9% | | 1.5% (減) |

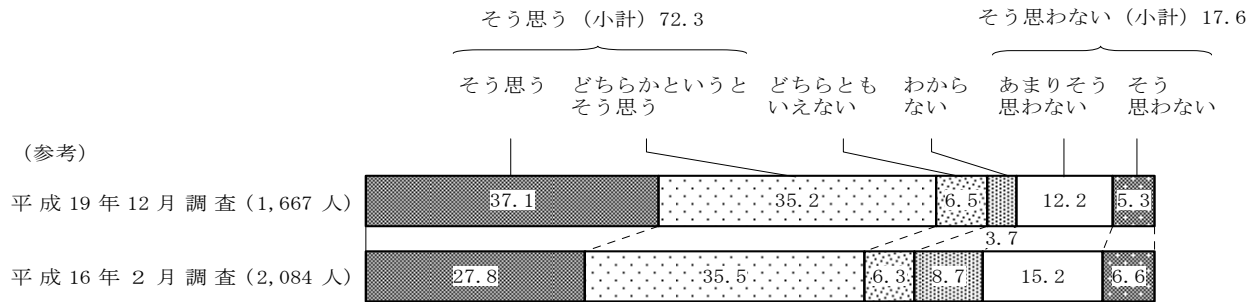
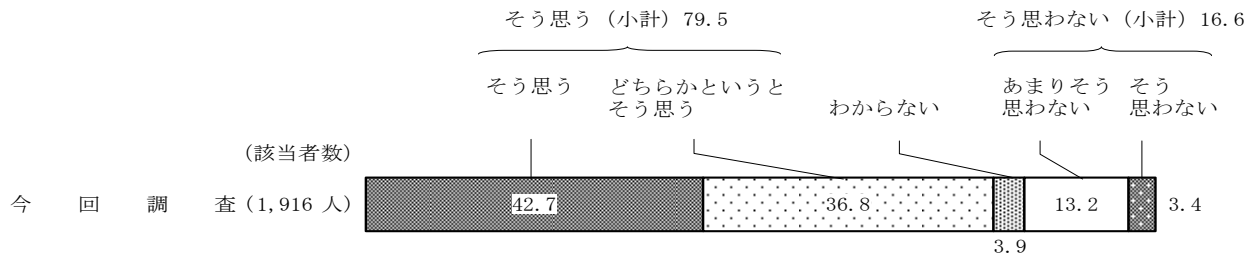


(4) 科学技術に関する意見

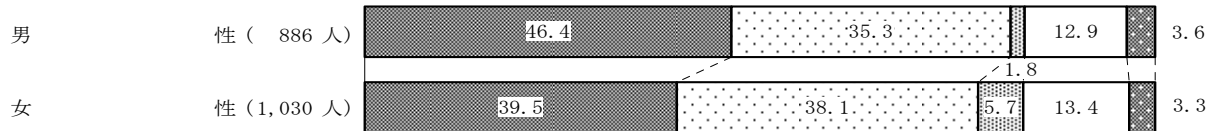
ア 日本の科学技術は、諸外国に比べ進んでいる

平成 22 年 1 月

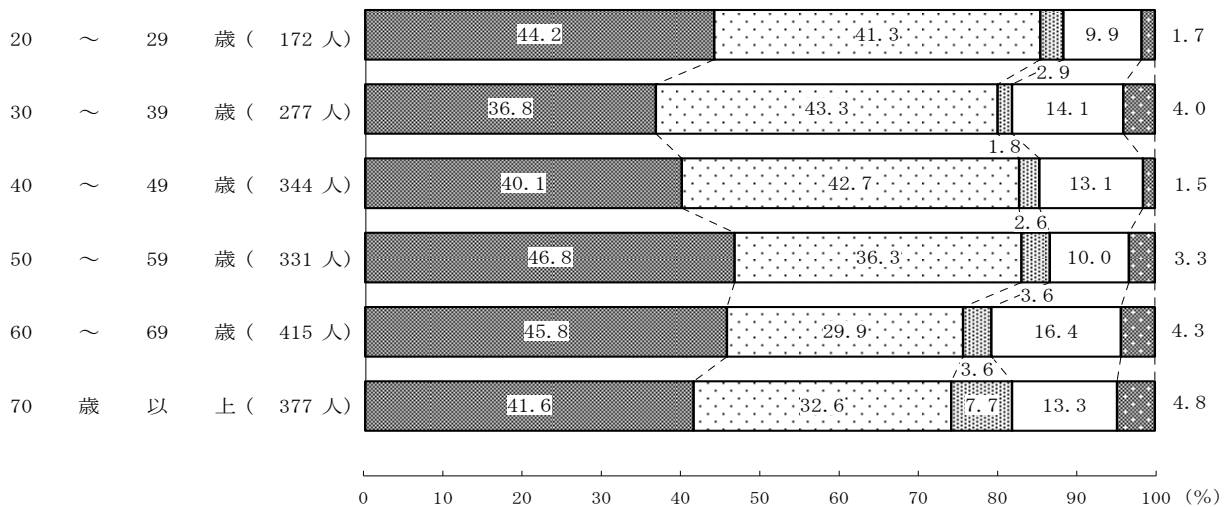
- ・ そう思う (小計) 79.5%
- ・ そう思う 42.7%
- ・ どちらかというと思う 36.8%
- ・ そう思わない (小計) 16.6%
- ・ あまりそう思わない 13.2%
- ・ そう思わない 3.4%



[性]



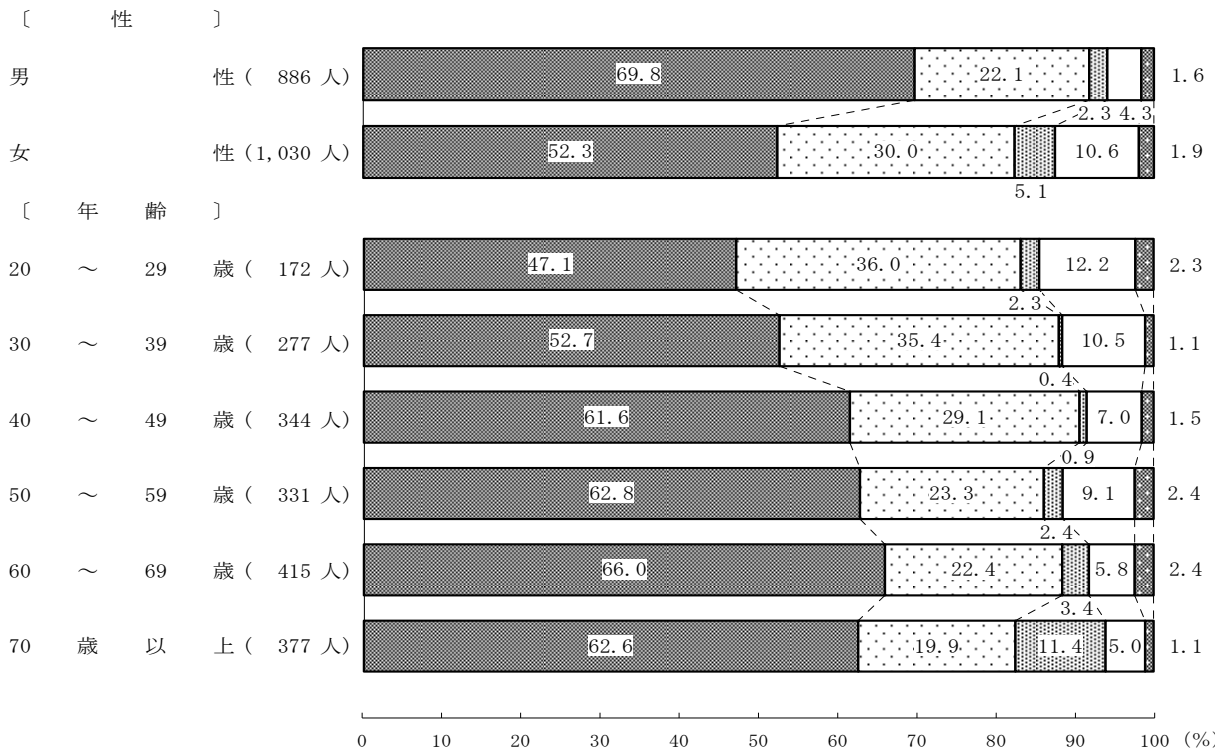
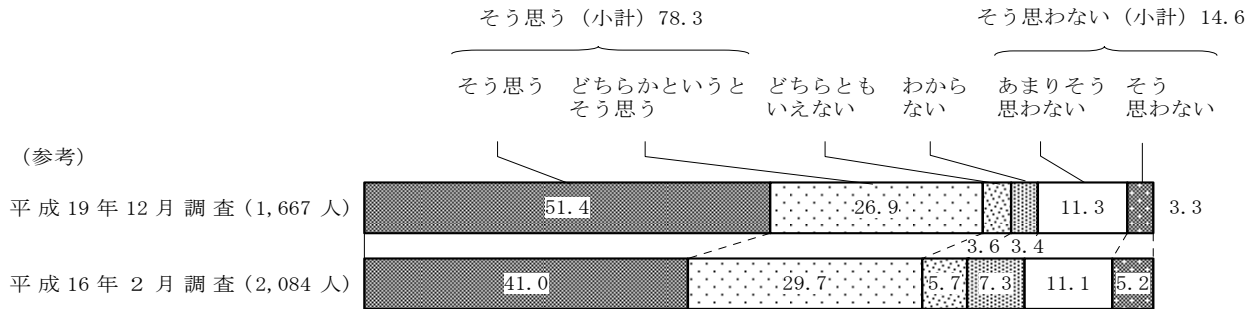
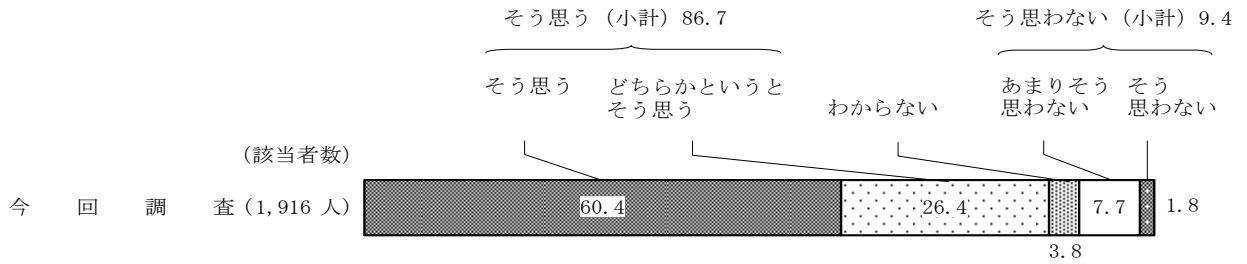
[年 齢]



イ 国際的な競争力を高めるためには、科学技術を発展させる必要がある

平成 22 年 1 月

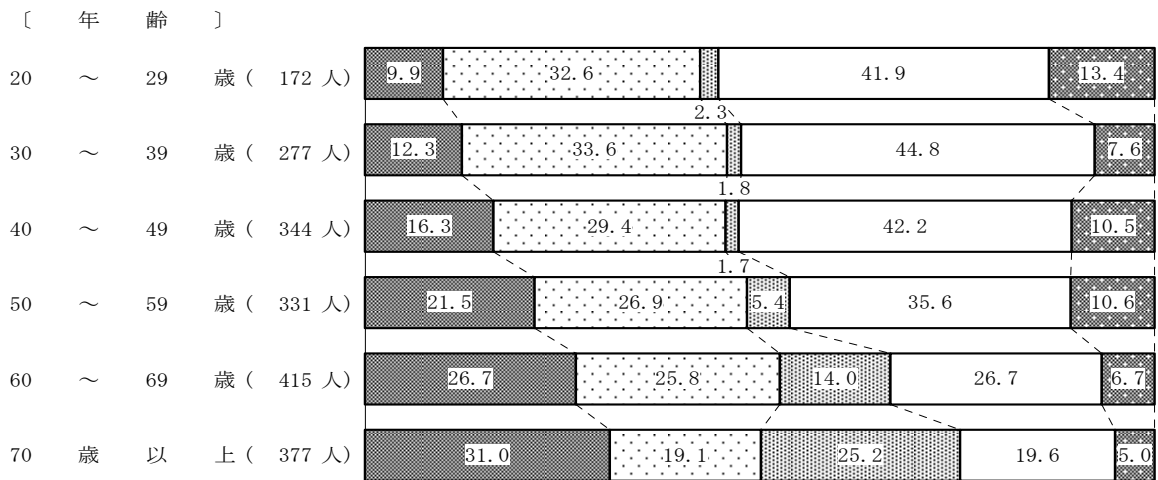
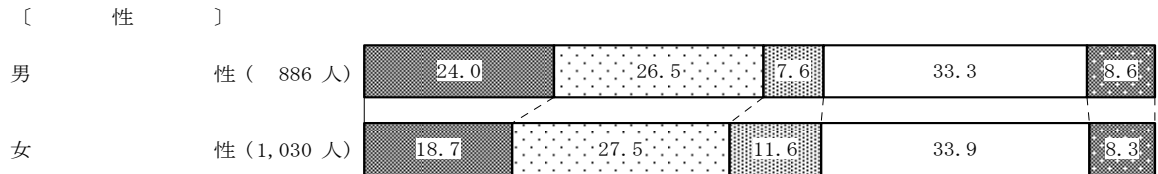
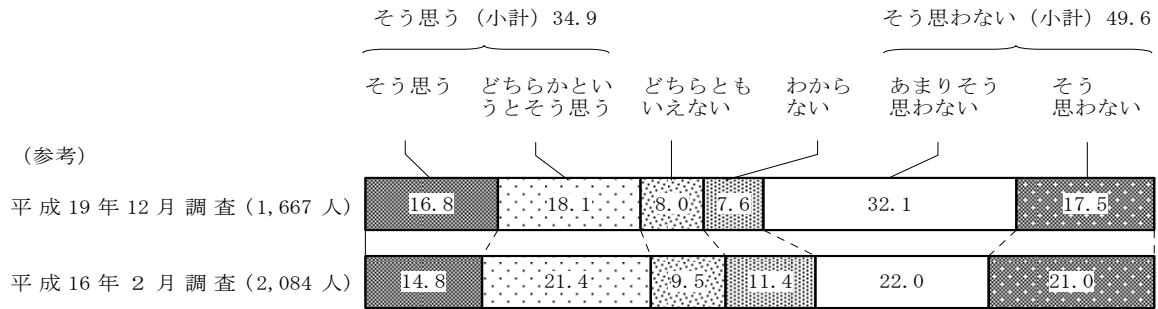
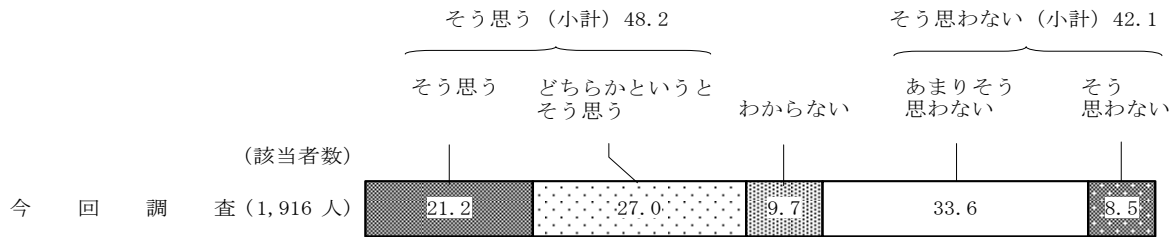
- ・ そう思う (小計) 86.7%
- ・ そう思う 60.4%
- ・ どちらかというと思う 26.4%
- ・ そう思わない (小計) 9.4%
- ・ あまりそう思わない 7.7%
- ・ そう思わない 1.8%



ウ 学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている

平成 22 年 1 月

- ・ そう思う (小計) 48.2%
 - ・ そう思う 21.2%
 - ・ どちらかというと思う 27.0%
- ・ そう思わない (小計) 42.1%
 - ・ あまりそう思わない 33.6%
 - ・ そう思わない 8.5%

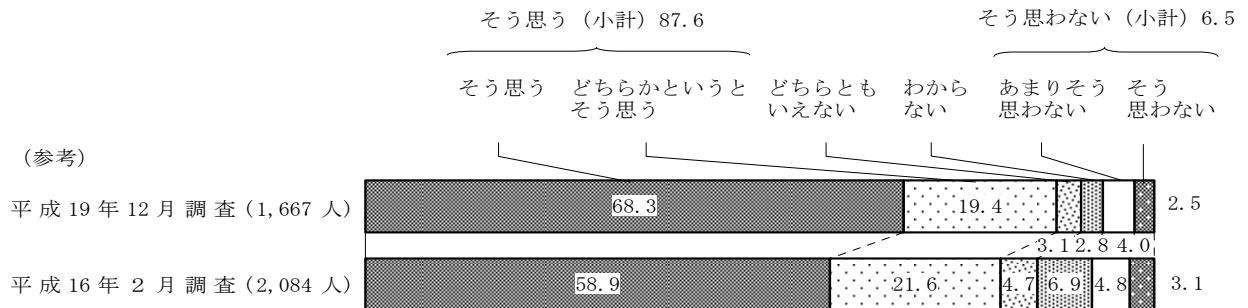
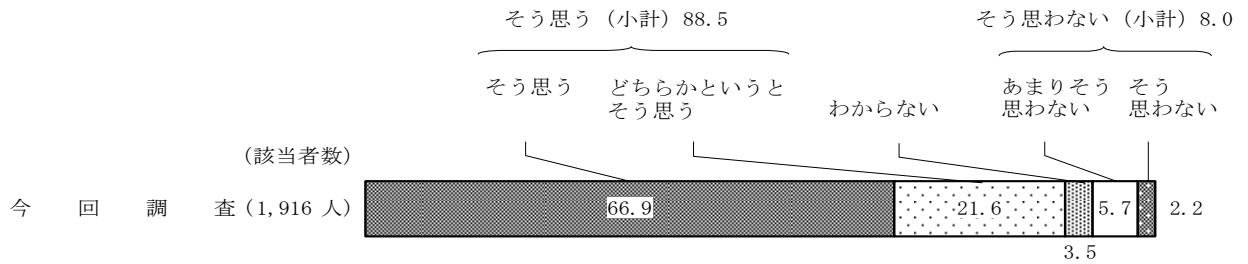


0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)

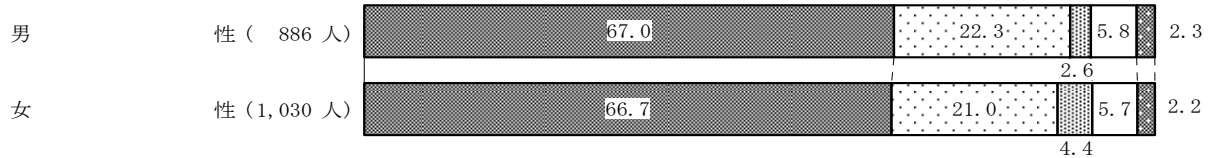
エ 物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさも実現するものであるべきである

平成 22 年 1 月

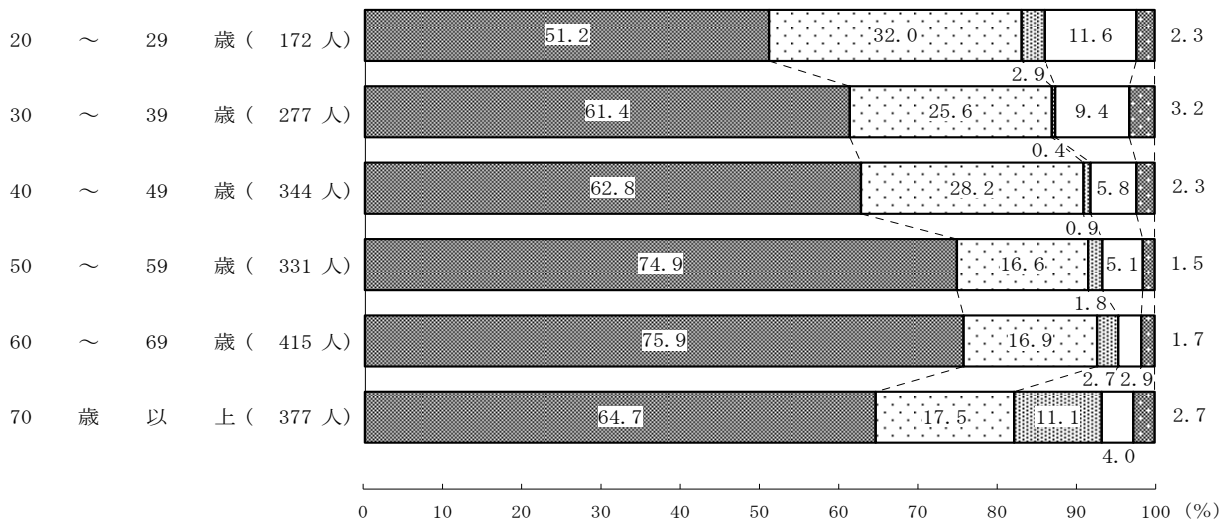
- ・ そう思う (小計) 88.5%
 - ・ そう思う 66.9%
 - ・ どちらかというと思う 21.6%
- ・ そう思わない (小計) 8.0%
 - ・ あまりそう思わない 5.7%
 - ・ そう思わない 2.2%



〔 性 〕



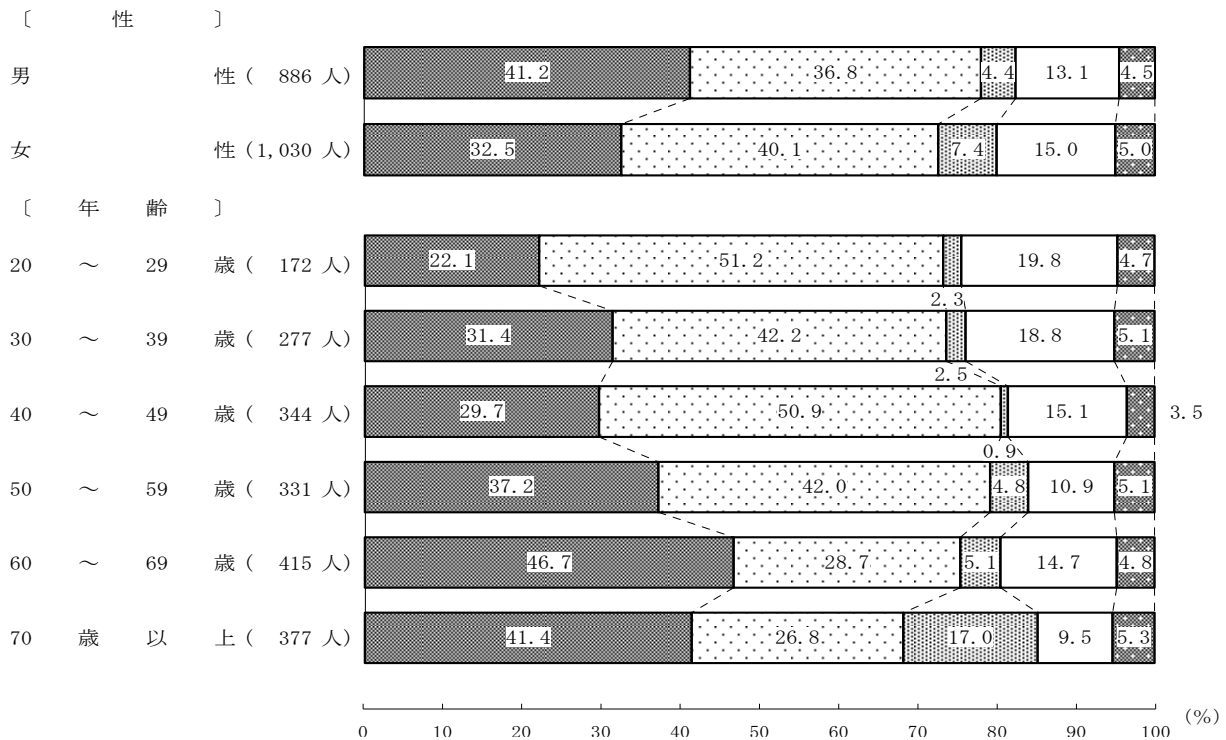
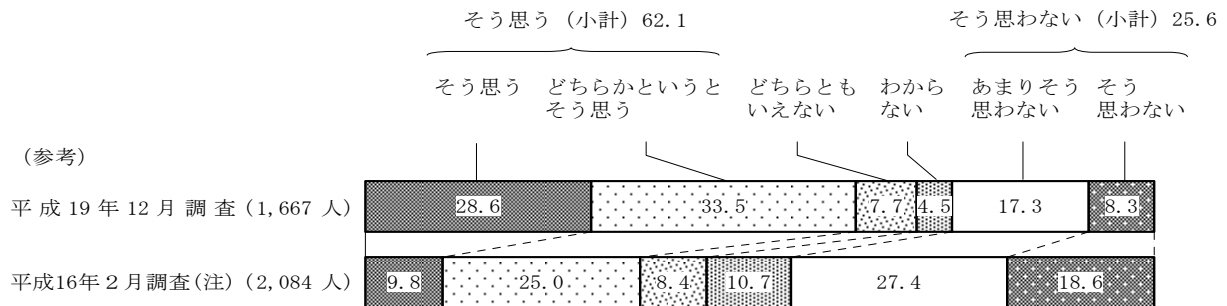
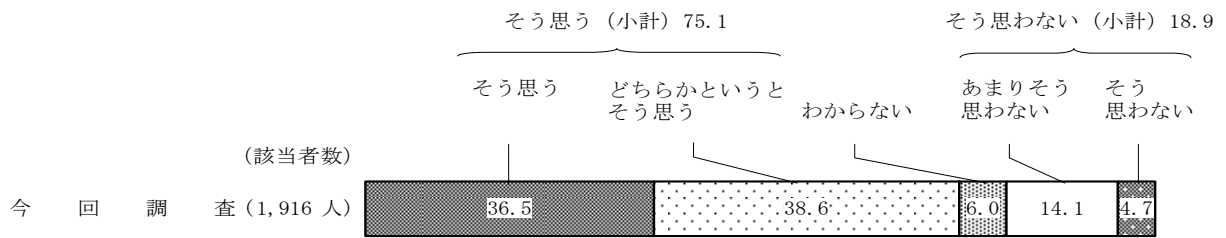
〔 年 齢 〕



オ 社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される

平成 22 年 1 月

- ・ そう思う (小計) 75.1%
 - ・ そう思う 36.5%
 - ・ どちらかというと思う 38.6%
- ・ そう思わない (小計) 18.9%
 - ・ あまりそう思わない 14.1%
 - ・ そう思わない 4.7%



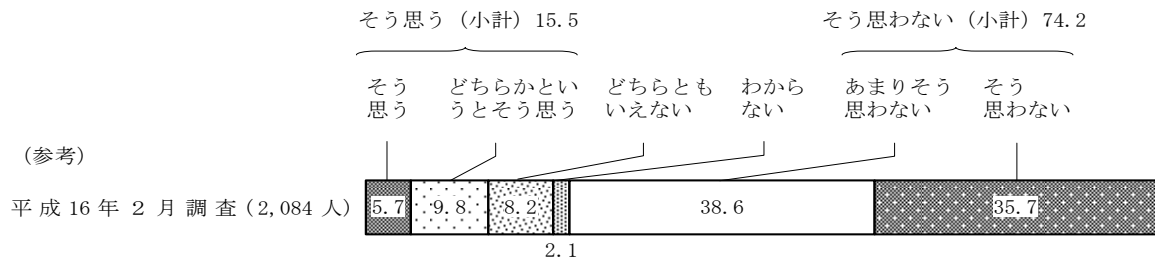
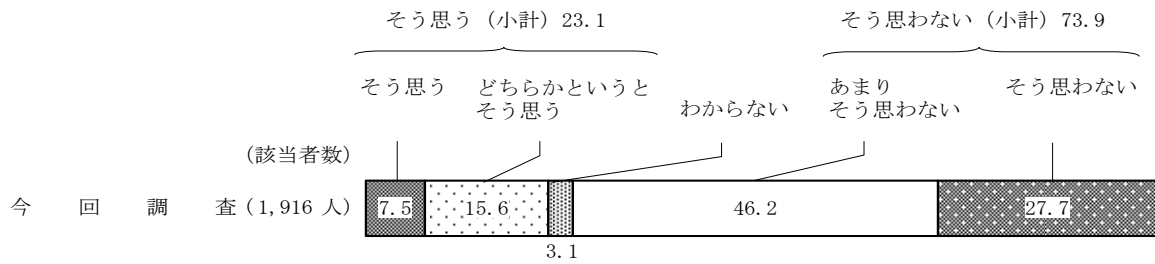
(注) 平成16年2月調査では、「科学技術に関する次の意見について、あなたはどのように思いますか。」と聞いた上で、「環境問題などの社会の新たな問題は科学技術によって解決される」と聞いている。

(5) 科学者や技術者に対するイメージ

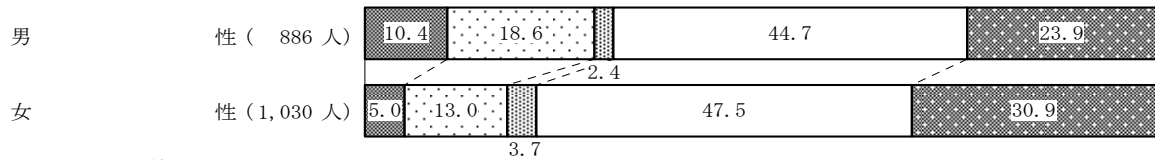
ア 科学者や技術者は身近な存在であり、親しみを感ずる

平成 22 年 1 月

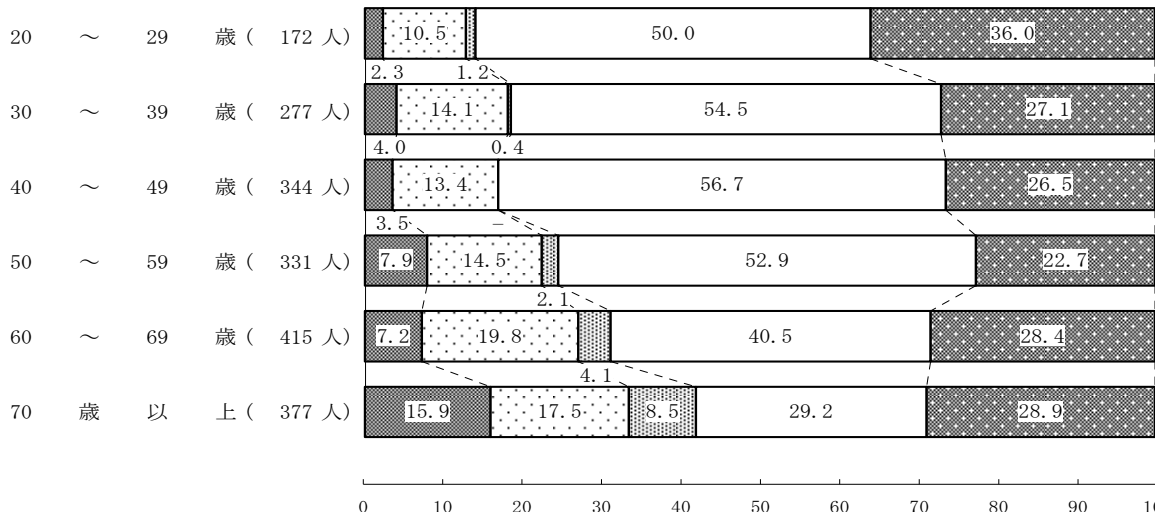
- ・ そう思う (小計) 23.1%
 - ・ そう思う 7.5%
 - ・ どちらかというと思う 15.6%
- ・ そう思わない (小計) 73.9%
 - ・ あまりそう思わない 46.2%
 - ・ そう思わない 27.7%



[性]



[年齢]

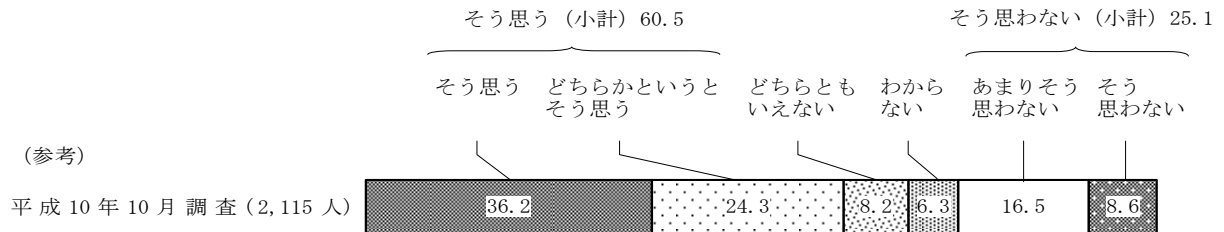
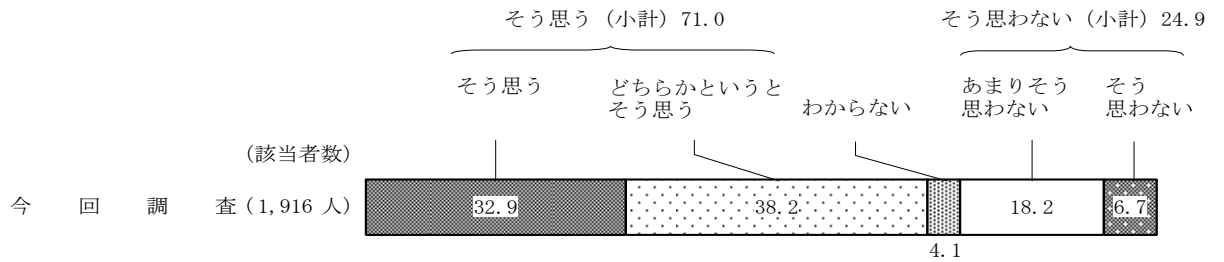


(注) 平成16年2月調査では、「科学者や技術者は、身近な存在であり、親しみを感ずるという意見について、あなたはどのように思いますか。」と聞いている。

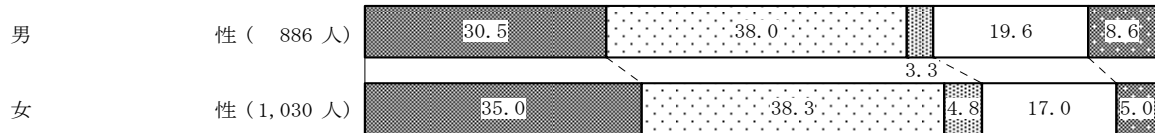
イ 科学者や技術者は一般に社会的地位が高い

平成 22 年 1 月

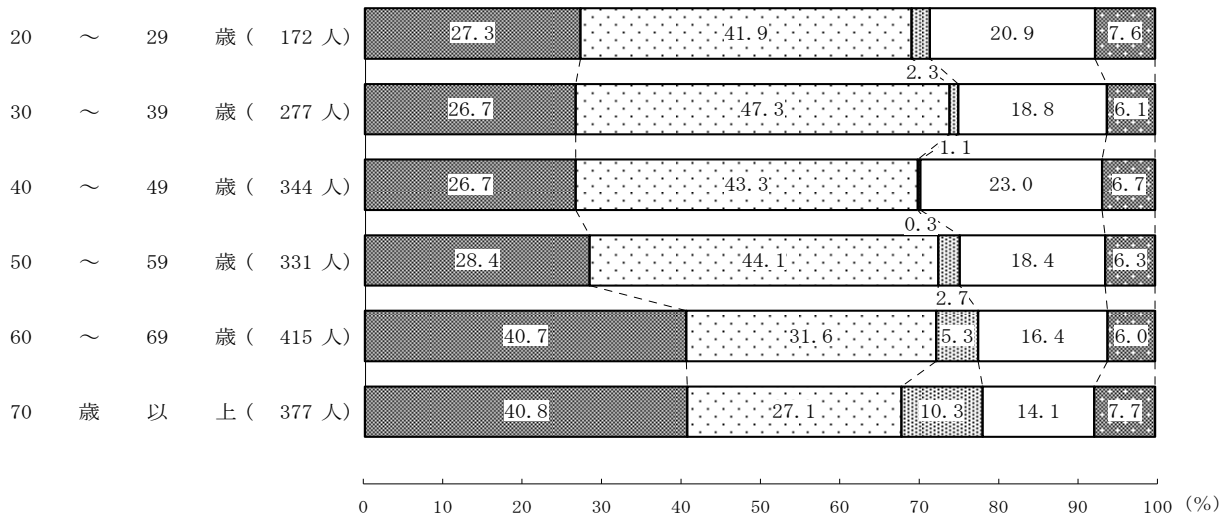
- ・ そう思う (小計) 71.0%
 - ・ そう思う 32.9%
 - ・ どちらかというと思う 38.2%
- ・ そう思わない (小計) 24.9%
 - ・ あまりそう思わない 18.2%
 - ・ そう思わない 6.7%



[性]



[年 齢]

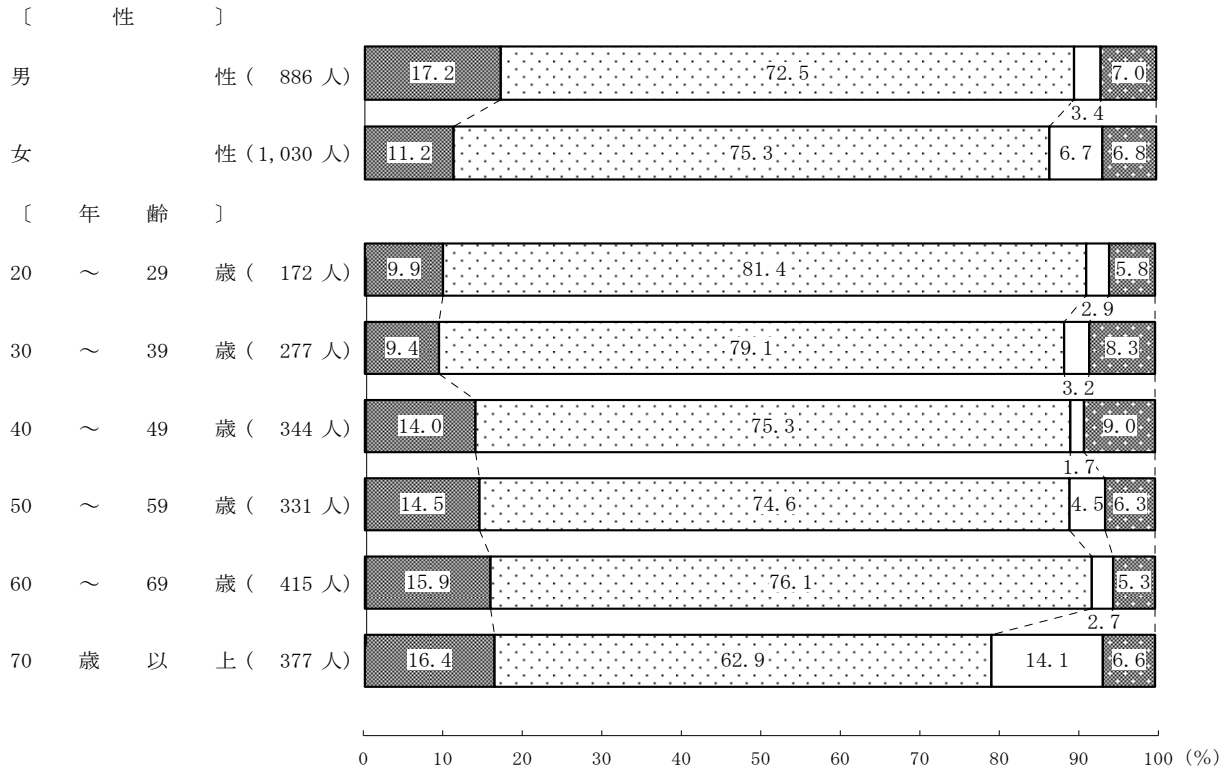
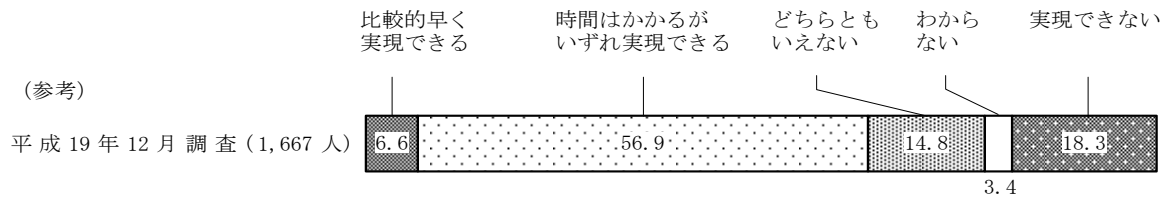
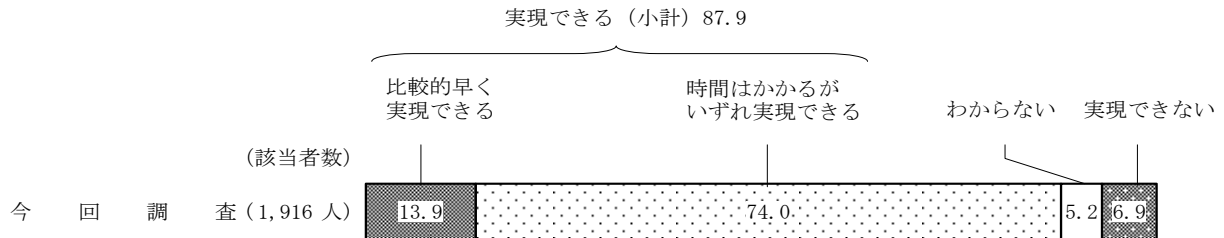


(注) 平成10年10月調査では、「科学技術の研究者に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。」と聞いた上で、「科学技術者の研究者は一般的に社会的地位が高い」と聞いている。

(6) 自然エネルギーや革新的エネルギーが普及した社会の実現性

平成 22 年 1 月

- ・ 実現できる (小計) 87.9%
- ・ 比較的早く実現できる 13.9%
- ・ 時間はかかるがいずれ実現できる 74.0%
- ・ 実現できない 6.9%



(注) 平成19年12月調査では、「地球温暖化問題に関して、わが国は世界に向けて、「世界全体の温室効果ガス排出量を現状に比して2050年までに半減する」ことを提案しています。そして、この達成に向け、太陽光や風力などの自然エネルギーや水素を使った燃料電池などの革新的なエネルギーが普及した社会をつくることが考えられます。このような社会の実現性について、あなたはどのように思いますか。」と聞いている。

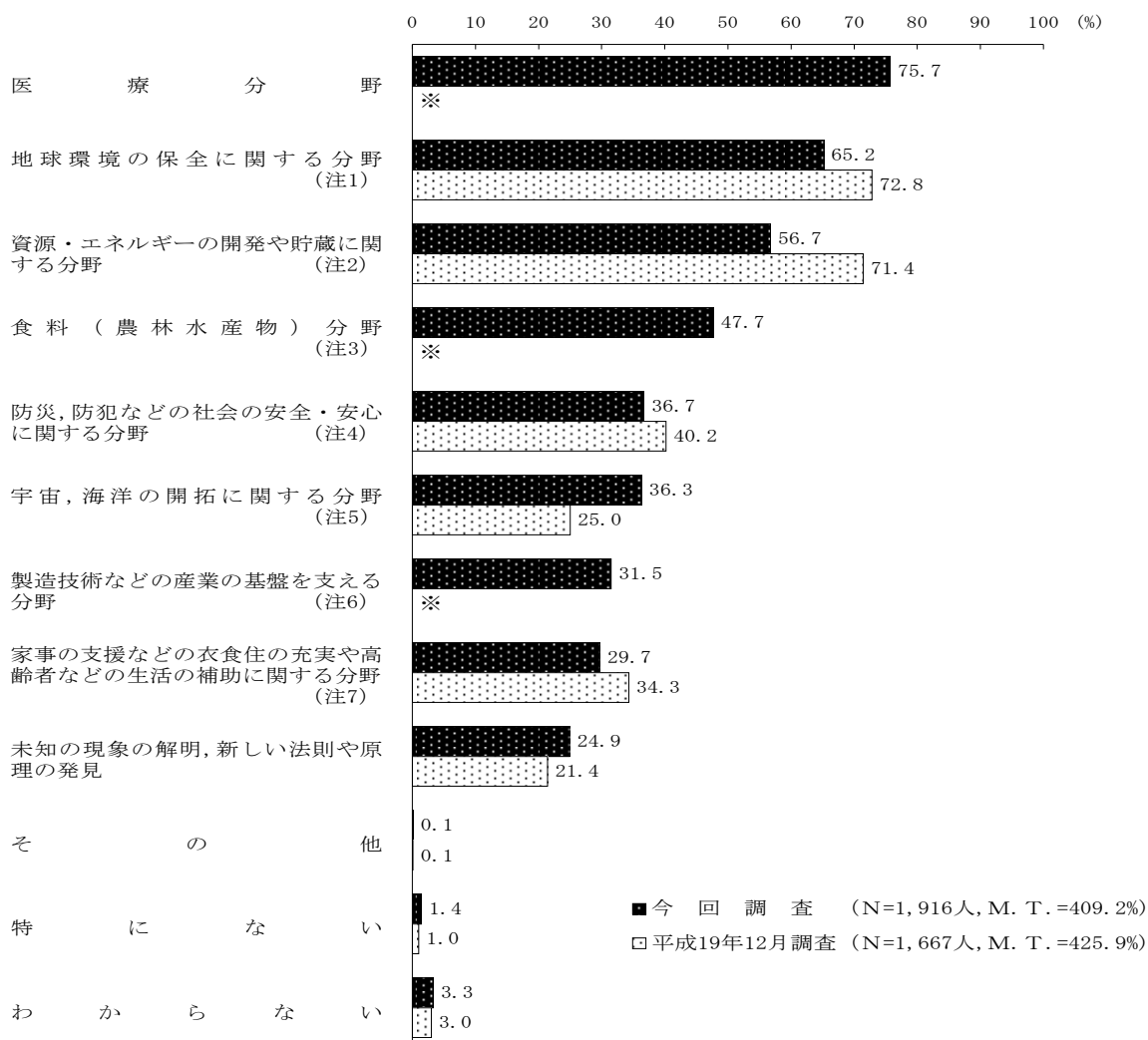
3 科学技術が貢献すべき分野及び発展に必要な政策について

(1) 科学技術が貢献すべき分野

(複数回答、上位4項目)

| | 平成19年12月 | 平成22年1月 |
|------------------------|----------|-------------|
| ・ 医療分野 | ※ | 75.7% |
| ・ 地球環境の保全に関する分野 | 72.8% | → 65.2% (減) |
| ・ 資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野 | 71.4% | → 56.7% (減) |
| ・ 食料(農林水産物)分野 | ※ | → 47.7% |

(複数回答)



(注) 平成19年12月調査では、「廃棄物の処理・処分」(48.5%)、「情報・通信」(27.0%)という選択肢がある。

(注1) 平成19年12月調査では、「地球環境や自然環境の保全」となっている。

(注2) 平成19年12月調査では、「資源・エネルギーの開発, 有効利用やリサイクル」となっている。

(注3) 平成19年12月調査では、「食料(農林水産物)の生産や健康の維持・増進」が47.8%となっている。

(注4) 平成19年12月調査では、「防災や安全対策」となっている。

(注5) 平成19年12月調査では、「宇宙, 海洋などのフロンティアの開拓」となっている。

(注6) 平成19年12月調査では、「土木・建築, 交通・輸送」が18.5%, 「工場での生産活動」が14.9%となっている。

(注7) 平成19年12月調査では、「家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助」となっている。

(2) 科学技術の発展に必要な政策

(複数回答、上位4項目)

平成22年1月

- ・ 次世代を担う若手の科学者、技術者の育成 76.6%
- ・ 研究や開発に関する資金の支援 58.7%
- ・ 科学者、技術者が共同で用いる研究設備の設置 45.1%
- ・ 科学技術に対する理解を深めるための広報活動の推進 30.0%

(複数回答)

